

応用生命化学専攻／応用生命工学専攻
博士後期課程（一般選抜、社会人特別選抜） 入試案内

この入試案内は、令和8(2026)年度東京大学大学院農学生命科学研究科博士後期課程学生募集要項を補足するものである。

<A日程>

1. 出願期間

令和7(2025)年6月18日（水）10時から6月24日（火）17時

出願にあたっては、募集要項を熟読すること。

2. 筆記試験（第一次試験）

(1) 外国語（英語）

TOEFL-iBTまたはTOEFL-iBT Home Editionの公式スコアを提出すること。

提出方法は、募集要項「7. 外国語（英語）試験について」を参照のこと。

(2) 専門科目

1) 分析化学、2) 生物化学、3) 有機化学・天然物化学、4) 微生物学、5) 分子生物学、6) 植物生理学・植物栄養学・土壌学、7) 食品科学の7科目のうち2科目を受験時に選択すること。

ただし、応用生命工学専攻の生物情報工学及び生命情報解析を志望する者は、8) 生命情報科学の1科目のみを選択すること。

試験は対面による筆記形式（日本語で出題、日本語または英語で解答）で行う。

※筆記試験の免除と実施に関する取扱いは以下の表のとおりとする。

【一般選抜】

試験科目	本研究科 (正規課程)				本学他研究科 (正規課程)		他大学 大学院 等
	在学中		修了		在学中	修了	
	本専攻	他専攻	本専攻	他専攻			
外国語（英語）	免除	免除	免除	免除	免除	免除	実施
専門科目	免除	免除	免除	免除	免除	免除	実施

【社会人特別選抜】

試験科目	本研究科 (正規課程)				本学他研究科 (正規課程)		他大学 大学院 等
	在学中		修了		在学中	修了	
	本専攻	他専攻	本専攻	他専攻			
外国語（英語）	免除	免除	免除	免除	免除	免除	実施
専門科目	免除	免除	免除	免除	免除	免除	実施

3. 口述試験（第二次試験）

一般選抜の筆記試験の合格者に対して、修士の学位論文又はこれに代わるものの審査をオンライン形式で行う。社会人特別選抜の筆記試験の合格者に対しては、従事してきた研究の概要の審査をオンライン形式で行う。

4. 試験期日

筆記試験は令和7(2025)年8月19日（火）に実施する。

試験科目		日 時	試験会場
筆記試験		令和7(2025)年8月19日（火） 13:00～15:00	受験者心得で通知する。
	専門科目		

(注) 試験時間は変更される可能性がある。

A日程の口述試験（第二次試験）は、A日程の筆記試験（第一次試験）に合格した者で、令和7(2025)年10月入学を希望する者について行う。A日程の筆記試験に合格した者で、令和8(2026)年4月入学を希望する者の口述試験は、B日程の口述試験時に併せて実施する。口述試験の試験日時その他の詳細は、令和7(2025)年7月上旬にメールで送付する受験者心得で通知する。

5. 提出書類

提出書類は、募集要項「10. 提出書類」に従い、ア～スを提出すること。「ス 専攻が提出を求める書類」は以下の表の書類を提出すること。

確認書	・ 令和8(2026)年3月31日までに本専攻修士課程修了見込み以外の者が提出のこと。 ・ 本研究科ホームページ (https://www.a.u-tokyo.ac.jp/grad/grad_applicants2.html) からダウンロードした所定様式に記入し、Web出願システムにPDFをアップロードすること。
推薦状	・ 令和8(2026)年3月31日までに本専攻修士課程修了見込みの者が提出のこと。 ・ 本研究科ホームページ (https://www.a.u-tokyo.ac.jp/grad/grad_applicants2.html) からダウンロードした所定様式に記入し、Web出願システムにPDFをアップロードすること。

1. 募集要項「10. 提出書類」の「キ. 修士学位論文又はこれに代わるもの」は、すでにあるものを提出してもよい。ただし、日本語、英語以外の言語で記述されている場合は、「修士学位論文又はこれに代わるもの」の内容を日本語または英語でまとめた「拡大要旨 (extended abstract)」を提出すること。拡大要旨は、日本語の場合は4000字程度、英語の場合は1600 words程度とする。図表を入れて、成果をわかりやすく記述すること。
2. 募集要項「10. 提出書類」の「ク. 修士学位論文又はこれに代わるものの要旨」は、日本語または英語とする。日本語の場合は2000字程度、英語の場合は800 words程度とする。図表を入れて、成果をわかりやすく記述すること。ただし、キ.で、拡大要旨を作成した場合は、それに代えることができる。

これらは上記出願期間に因らず令和8(2026)年1月22日（木）～1月27日（火）17:00に、本研

究科Webサイト上で指定するURLからPDFを提出すること。ただし、令和7(2025)年10月入学希望者は、上記A日程出願期間に提出すること。

6. 10月入学

募集要項に定める出願資格を満たす者は令和7(2025)年10月入学を希望できる。希望者は、募集要項「10. 提出書類」の「シ 10月入学希望申請書」を出願期間中にWeb出願システムにアップロードすること。

7. その他

(1) Web出願システム入力の際の注意事項

①指定された欄をすべて入力すること。未入力の欄がある場合は、出願書類不備として取り扱う。

②志望専門分野及び志望指導教員欄は、募集要項「教員並びに専門分野一覧」を参照のうえ専門分野と教員名を入力すること。

なお、異動等に伴い教員名等の記載事項に変更が生じた場合は、募集要項「教員並びに専門分野一覧」を更新するので、出願前に最新版を確認すること。

③試験科目欄の「専門科目」欄は入力しなくてもよい。 ※受験時に選択

④履歴事項は修士課程修了(見込み)までを入力すること。また、社会人特別選拔出願者は職歴を入力すること。

⑤学歴について、飛び級等の学歴がある場合または日本以外の国での教育歴がある場合は出願前に入力方法を農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当(募集要項「14. 問合せ・連絡先」参照)へ問い合わせること。

(2) 出願書類として志望希望指導教員の確認書の提出が必要となるため、出願前に余裕を持って志望指導教員へ連絡を取ること。

(3) 過去問題は、本研究科学生サービスセンターにて閲覧することができる。

(4) 本専攻の入学試験に関する不明な点は、応用生命化学専攻または応用生命工学専攻(募集要項「各専攻のお問い合わせ先」参照)に問い合わせること。

(5) 本研究科入学試験については、募集要項及び本入試案内を熟読すること。出願にあたり不明な点は、予め農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当(募集要項「14. 問合せ・連絡先」参照)まで、余裕を持って問い合わせること。

<B日程>

1. 出願期間

令和7(2025)年11月20日（木）10時から11月26日（水）17時

出願にあたっては、募集要項を熟読すること。

2. 筆記試験（第一次試験）

(1) 外国語（英語）

TOEFL-iBTまたはTOEFL-iBT Home Editionの公式スコアを提出すること。

提出方法は、募集要項「7. 外国語（英語）試験について」を参照のこと。

(2) 専門科目

1) 分析化学、2) 生物化学、3) 有機化学・天然物化学、4) 微生物学、5) 分子生物学、6) 植物生理学・植物栄養学・土壌学、7) 食品科学の7科目の中から2科目を出願時に選択すること。

ただし、応用生命工学専攻の生物情報工学及び生命情報解析を志望する者は、8) 生命情報科学の1科目のみを選択すること。

試験は対面による筆記形式（英語で出題、英語または日本語で解答）で行う。

※筆記試験の免除と実施に関する取扱いは以下のとおりとする。

【一般選抜】

試験科目	本研究科 (正規課程)				本学他研究科 (正規課程)		他大学 大学院 等
	在学中		修了		在学中	修了	
	本専攻	他専攻	本専攻	他専攻			
外国語（英語）	免除	免除	免除	免除	免除	免除	実施
専門科目	免除	免除	免除	免除	免除	免除	実施

【社会人特別選抜】

試験科目	本研究科 (正規課程)				本学他研究科 (正規課程)		他大学 大学院 等
	在学中		修了		在学中	修了	
	本専攻	他専攻	本専攻	他専攻			
外国語（英語）	免除	免除	免除	免除	免除	免除	実施
専門科目	免除	免除	免除	免除	免除	免除	実施

3. 口述試験（第二次試験）

B日程の一般選抜受験者に対しては、修士の学位論文又はこれに代わるものの審査をオンライン形式で行う。B日程の社会人特別選抜受験者に対しては、従事してきた研究の概要の審査をオンライン形式で行う。

4. アドミッションズ・オフィス（AO）方式による選考

希望者についてAO方式による選考を実施する。詳細は「応用生命化学専攻・応用生命工学専攻博士後期課程B日程AO方式による選考に関する補足説明」を参照のこと。

AO方式による選考通過者は筆記試験が免除される。また、AO方式による選抜が「否」と判定された場合でも、一般選抜または社会人特別選抜を受験することができる。

5. 試験期日

令和8(2026)年1月29日（木）～2月6日（金）に実施する。

筆記試験又は口述試験の日程その他の詳細は、令和8(2026)年1月上旬にメールで送付する受験者心得で通知する。

6. 提出書類

提出書類は、募集要項「10. 提出書類」に従い、ア～スを提出すること。「ス 専攻が提出を求める書類」は以下の表の書類を提出すること。

確認書	<ul style="list-style-type: none">・ 令和8(2026)年3月31日までに本専攻修士課程修了見込み以外の者が提出のこと。・ 本研究科ホームページ (https://www.a.u-tokyo.ac.jp/grad/grad_applicants2.html) からダウンロードした所定様式に記入し、Web出願システムにPDFをアップロードすること。
推薦状	<ul style="list-style-type: none">・ 令和8(2026)年3月31日までに本専攻修士課程修了見込みの者が提出のこと。・ 本研究科ホームページ (https://www.a.u-tokyo.ac.jp/grad/grad_applicants2.html) からダウンロードした所定様式に記入し、Web出願システムにPDFをアップロードすること。

1. 募集要項「10. 提出書類」の「キ 修士学位論文又はこれに代わるもの」は、すでにあるものを提出してもよい。ただし、日本語、英語以外の言語で記述されている場合は、「修士学位論文又はこれに代わるもの」の内容を日本語または英語でまとめた「拡大要旨(x)」を提出すること。拡大要旨は、日本語の場合は4000字程度、英語の場合は1600 words程度とする。図表を入れて、成果をわかりやすく記述すること。
2. 募集要項「10. 提出書類」の「ク 修士学位論文又はこれに代わるものの要旨」は、日本語または英語とする。日本語の場合は2000字程度、英語の場合は800words程度とする。図表を入れて、成果をわかりやすく記述すること。ただし、キ.で、拡大要旨を作成した場合は、それに代えることができる。

これらは上記出願期間に因らず令和8(2026)年1月22日（木）～1月27日（火）17:00に、本研究科Webサイト上で指定するURLからPDFを提出すること。

7. 10月入学

募集要項に定める出願資格を満たす者は令和8(2026)年10月入学を希望できる。希望者は、募集要項「10. 提出書類」の「シ 10月入学希望申請書」を出願期間中にWeb出願システムにアップロードすること。

8. その他

(1) Web出願システム入力の際の注意事項

①指定された欄をすべて入力すること。未入力の欄がある場合は、出願書類不備として取り扱う。

②志望専門分野及び志望指導教員欄は、募集要項「教員並びに専門分野一覧」を参照のうえ専門分野と教員名を入力すること。

なお、異動等に伴い教員名等の記載事項に変更が生じた場合は、募集要項「教員並びに専門分野一覧」を更新するので、出願前に最新版を確認すること。

③試験科目欄の「専門科目」欄には選択する科目を入力すること。 ※出願時に選択

④履歴事項は修士課程修了(見込み)までを入力すること。また、社会人特別選抜出願者は職歴を入力すること。

⑤学歴について、飛び級等の学歴がある場合または日本以外の国での教育歴がある場合は出願前に入力方法を農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当(募集要項「14. 問合せ・連絡先」参照)へ問い合わせること。

(2) 出願書類として志望希望指導教員の確認書の提出が必要となるため、出願前に余裕を持って志望指導教員へ連絡を取ること。

(3) 過去問題は、本研究科学生サービスセンターにて閲覧することができる。

(4) 本専攻の入学試験に関する不明な点は、応用生命化学専攻又は応用生命工学専攻(募集要項「各専攻のお問い合わせ先」参照)に問い合わせること。

(5) 本研究科入学試験については、募集要項及び本入試案内を熟読すること。出願にあたり不明な点は、予め農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当(募集要項「14. 問合せ・連絡先」参照)まで、余裕を持って問い合わせること。